

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年10月6日（月）～平成26年10月12日（日）〔平成26年第41週〕の感染症発生状況

第41週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)ヘルパンギーナでした。

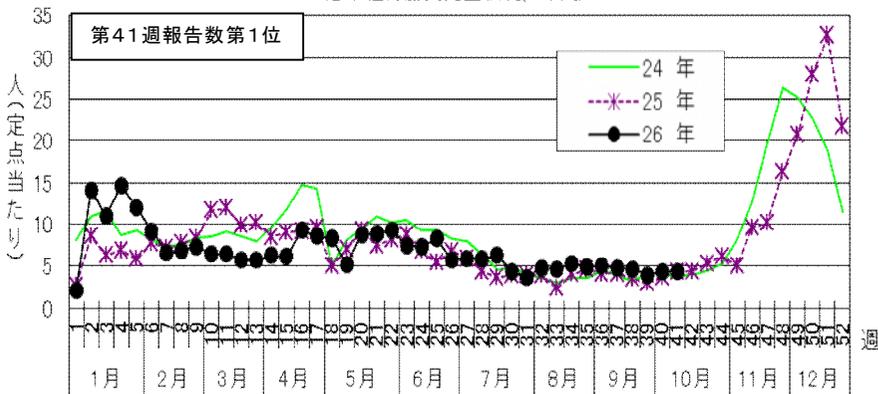
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.39人と前週（4.30）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.45人と前週（1.30）からほぼ横ばいですが、例年より高いレベルで推移しています。

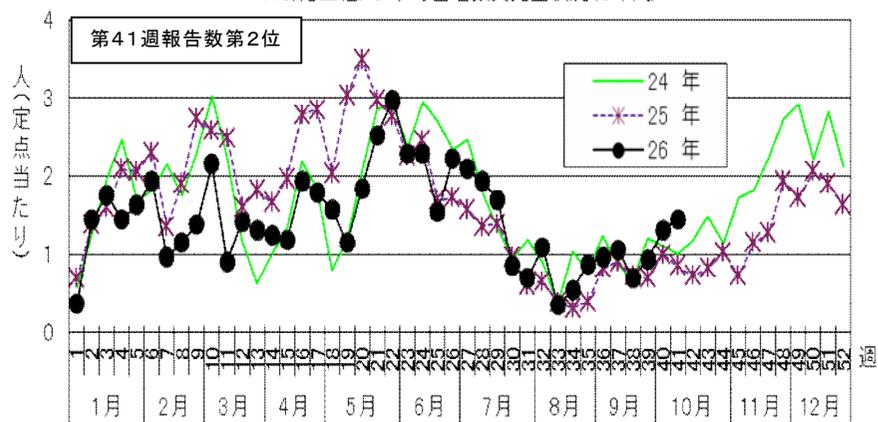
ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.82人と前週（0.88）からほぼ横ばいですが、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



感染性胃腸炎の流行に注意が必要です！！

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などが原因で、下痢や嘔吐などの症状が出る感染症です。例年11月頃から、ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎の患者報告数が急激に増加するため、予防対策を徹底するなど注意が必要です。

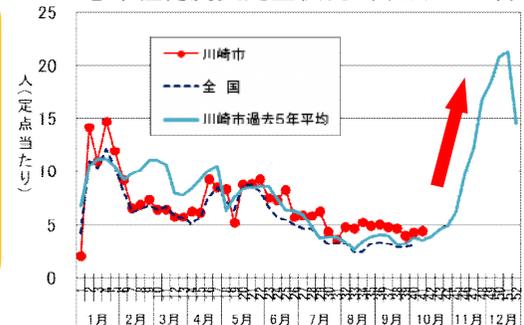
主な感染経路

①患者のウイルスが大量に含まれる便や嘔吐物から人の手などを介して感染

※便や嘔吐物中のノロウイルスは乾燥すると容易に空中に漂い、これが口に入って感染することがあります。

②ウイルスに汚染された食品を食べることで感染

感染性胃腸炎発生状況(平成26年)



予防対策

①手洗いを徹底するとともに、衣類や床などが便や嘔吐物に汚染された場合は、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒しましょう。

②食品は中心部まで十分加熱（85～90℃で90秒以上）しましょう。



一人一人が感染しない・感染させないように心がけ、感染を広げないことが大切です。